

豊岡偉人伝 11

私たちの暮らしの発展に尽くし、近代日本の礎を築いた人、スポーツ・芸術の普及発展に心血を注いだ人など、豊岡にはさまざまな先人たちの心が息づいています。

その先人たちに学び、志を引き継ぎましょう。

《問合せ》文化振興課 ☎23-1160

東京大学の生みの親 加藤弘之

加藤弘之

(1836~1916)

出石町下谷出身
官僚・政治学者



- 1836年 出石町下谷に生まれる
- 1845年 10歳 藩校弘道館に入学
- 1852年 17歳 江戸に出て佐久間象山の下で学ぶ
- 1860年 25歳 蕃書調所教授手伝となる
- 1865年 30歳 『交易問答』を著す
- 1868年 34歳 『立憲政体略』を著す
- 1870年 35歳 明治天皇と皇后に講義をする
- 1873年 38歳 『国体新論』を著す
- 1874年 39歳 民撰議院設立建白書に反対する
- 1877年 42歳 開成学校(現東京大学)総理を嘱託される
- 1881年 46歳 東京大学総理になる
- 1882年 47歳 天賦人權説を否定する
- 1890年 55歳 東京帝国大学総長に任ぜられる
- 1893年 58歳 東京帝国大学総長を辞す
- 1907年 72歳 ドイツ皇帝より勲章を受領
- 1908年 73歳 齋藤隆夫が「早稲田学報」に加藤への反論を掲載
- 1916年 81歳 東京にて逝去

出石に生まれ、10歳から藩校弘道館で儒学を学んだ後、17歳で江戸に渡り佐久間象山などの下で西洋の兵学や学問に触れ感動を覚えます。

その後、ドイツ語を独学で究めて、欧米の政治体制や外国との貿易などについて著書を書いたり、明治天皇に憲法・三権分立・地方自治などについて講義しました。

開成学校の総理に就任し、日本初の総合大学である東京大学の創設に貢献。同大学の総理を9年、東京帝国大学の総長を3年務めます。総長を辞任した後も多数の官職を歴任し、81歳で逝去しました。



▲東京大学総理就任

思想の変遷

「全て人間は生まれながら自由・平等の生活をする権利を有する」という天賦人權説に基づき、多くの著書を書きました。

明治初期、自由民権派が政府に対して民選議院(国会)の開設を要求していた際、その建白書が富裕層に参政権を限定する内容であったため、時期尚早として反対するなど天賦人權説の立場から意見を述べました。

しかし、40歳ころからダーウィンなどの新しい学説に影響を受け「人權は、天賦でなく進化によって次第に発展したもの」と、これまでの説を全面的に否定し、以前に発表した著書も絶版としました。

この思想の転向により批判された加藤は、新説を取り入れず既存の考えに固執する学者に憤りを覚えました。

加藤弘之と齋藤隆夫

日本の最高峰に君臨する学者だった加藤の論文に、同郷の齋藤隆夫が真っ向から対立しました。

1908年、齋藤は、母校である早稲田大学の「早稲田学報」に5,000字を超える論文を掲載し、加藤の唱えた天皇機関説(天皇を国家の最高機関とする説)などを批判しました。翌年、加藤が反論する論文を発表するなど、日本の政治思想の根幹をなす格調の高い論争が同郷の2人により展開されました。

加藤の所説は、昭和初期まで一世を風靡しましたが、敗戦後は齋藤の説が正論として認識されるようになりました。

加藤弘之生家

生家であるこの家は屋根、外観等は改修されていますが、敷地と建物は当時のままで豊岡市指定文化財に指定されています。



場所 出石町下谷10-1

開館日 日曜日・祝日(12/28~1/4は休館)
午前10時~午後3時

入館料 無料

【表紙写真】3月9日、JBL2(日本バスケットボールリーグ2部機構)公式試合「兵庫ストークスVS東京海上日動ビッグブルー」が、総合体育館(大磯町)で行われ、86対42で兵庫ストークスが勝利を収めました。市マスコットキャラクター「コウノトリのコーちゃん」「オオサンショウウオのオーちゃん」「玄武岩の玄さん」も応援に駆け付けました。

●発行/豊岡市
☎07966123
市長室 FAX 24-1004
●編集/政策調整部秘書広報課
FAX 23-1124

〒668-8666
兵庫県豊岡市中央町2番4号
URL <http://www.city.toyooka.lg.jp>

(総合支所)
・竹野 ☎47-1111
・出石 ☎52-3111
・城崎 ☎4232-0001
・日高 ☎544232-1101
・但東 ☎541000-1000